

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：高校教育指導課

担当名：体験活動・キャリア教育推進担当

内線：6772

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B46	課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06 次代を担う人財育成	
					分野施策	030620 確かな学力と自立する力の育成		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>基礎学力や言語に課題を抱えた高校生を対象として、外部教育力を活用し、義務教育段階の学習内容の学び直しや日本語指導、学校生活への適応指導を行うことにより、生徒一人一人が安心して学習できる環境を整備する。</p> <p>(1) 学習支援 $\Delta 3,698$千円 報償費等が見込みを下回ったことによる減</p> <p>(2) 自立支援 $\Delta 460$千円 報酬等が見込みを下回ったことによる減</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 学習支援 29,763千円 基礎学力に課題を抱える生徒が多く在籍する高校に学習サポーターを配置する。</p> <p>イ 自立支援 14,626千円 日本語指導が必要な生徒が多く在籍する高校に多文化共生推進員を配置する。</p> <p>(2) 事業計画 学習サポーターの配置により基礎学力の定着及び学び直しの徹底を図るとともに、多文化共生推進員の配置により言語に起因する生徒の問題の解決を図る。</p> <p>(3) 事業効果 社会で生きていくために必要となる学力の習得や言語に起因する問題の解決を図り、就職内定率の向上など進路決定率を向上させる。</p> <p>(4) その他 【前年度からの変更点】 ICTを活用した基礎学力の定着・学び直しのためのタブレット端末や学習コンテンツの減額</p> <p>(5) 補正予算の概要 (1) 学習支援：報償費等が見込みを下回ったことによる減額。 (2) 自立支援：報酬等が見込みを下回ったことによる減額。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (一部国1/3・県2/3)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 4,158$	国庫支出金					$\Delta 4,158$	40,231
現計額	44,389	8,850					35,539	